



No. 8
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
(平成28年度第2回)

一般国道161号

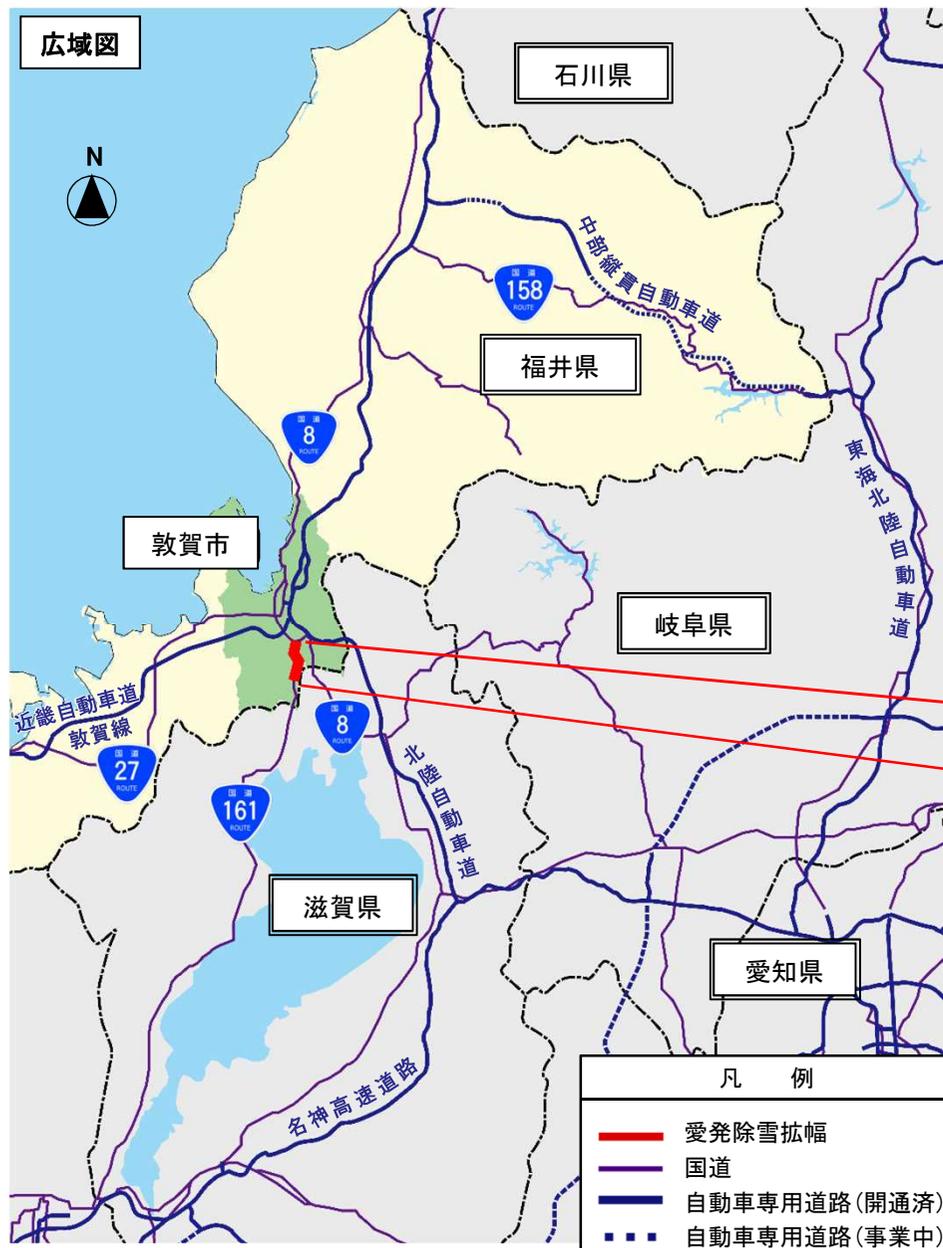
あ ら ち
愛 発 除 雪 拡 幅

【再評価】

平成28年7月
近畿地方整備局

事業全体図

一般国道161号 愛発除雪拡幅



一般国道161号は、福井県敦賀市を起点とし、滋賀県湖西地域を経て、滋賀県大津市に至る北陸地方と近畿圏を結ぶ主要幹線道路です。

福井県内の区間は堆雪帯がないため、冬期積雪時には円滑な通行に支障をきたしています。

愛発除雪拡幅は、敦賀市疋田から駄口を結ぶ4.5kmの現道拡幅区間であり、交通安全の確保及び冬期の円滑な交通の確保を目的とした道路です。

(起点) 福井県敦賀市疋田

↑ 愛発除雪拡幅 延長4.5km

(終点) 福井県敦賀市駄口



事業の概要

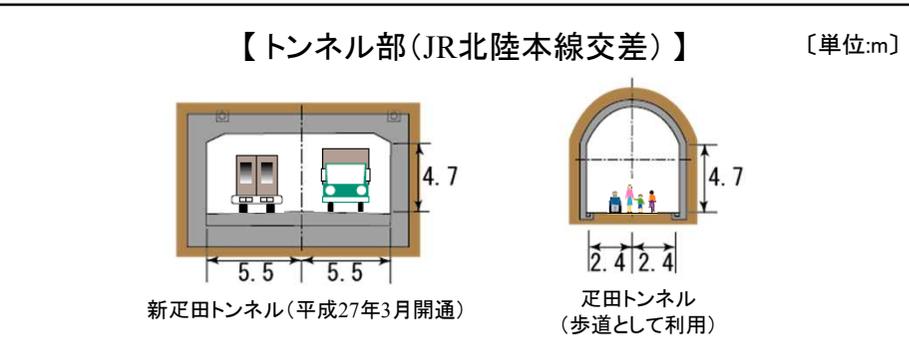
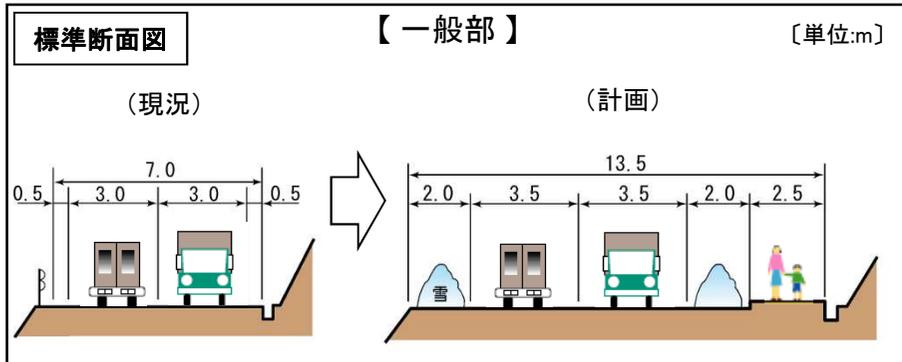
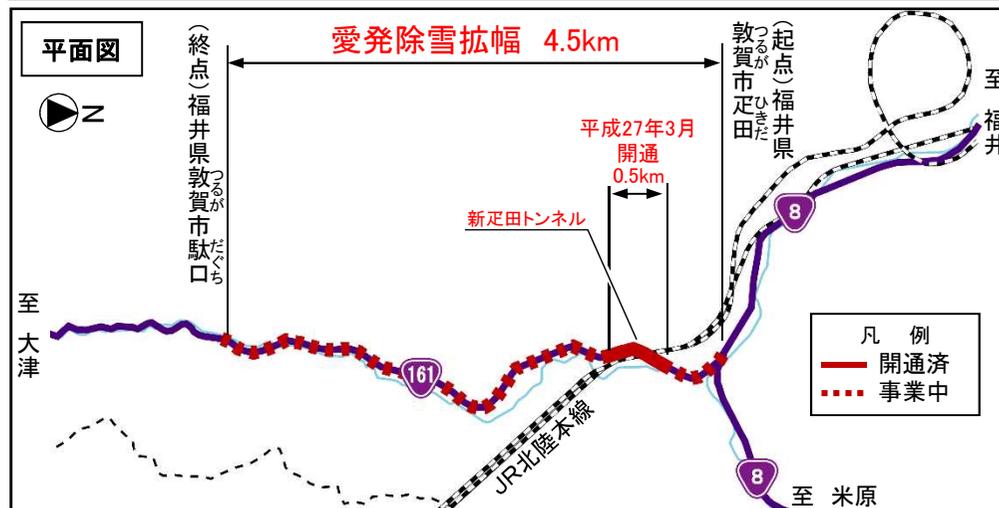
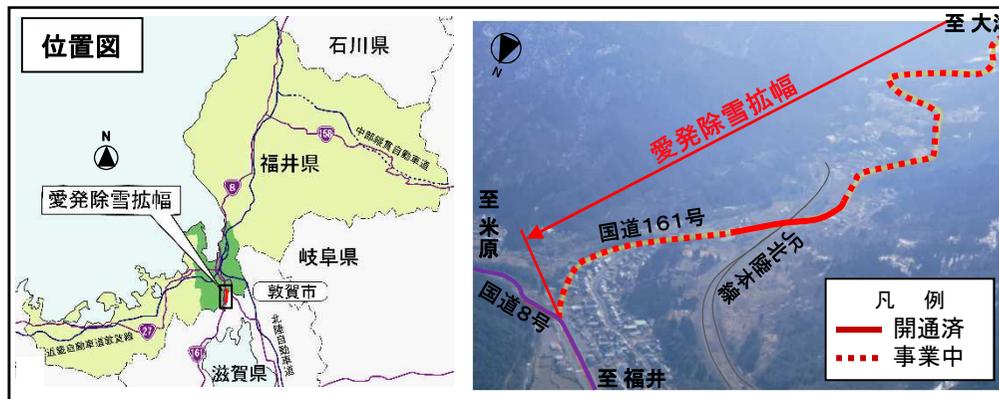
一般国道161号 愛発除雪拡幅

事業の目的

- 冬期の円滑な交通の確保
- 幅員狭小区間の解消

事業の概要・進捗状況

区間	(起) 福井県敦賀市足田 (終) 福井県敦賀市駄口
道路延長	4.5km
構造規格	第3種第2級
設計速度	60km/h
車線数	2車線
標準幅員	13.5m
計画交通量	6,100台/日
全体事業費	81億円
事業化	平成15年度
用地着手	平成15年度
工事着手	平成16年度
開通延長	0.5km
事業進捗率	約85%(平成27年度末現在)
用地取得率	約26%(面積ベース, 同上)



再評価の視点	現在の状況	備考
事業の必要性に関する視点		
1)事業を巡る社会経済情勢等の変化	前回再評価時点(H25年12月)から大きな変化なし	■大雪等により頻繁に通行止が発生
2)事業の整備効果	前回再評価時点(H25年12月)から大きな変化なし	
3)事業の投資効果	社会経済情勢等に大きな変化がないため算出を省略	前回 ・費用 97億円(全体) ・効果 124億円
4)地域における計画等	前回再評価時点(H25年12月)から大きな変化なし	
事業の進捗の見込みの視点	進捗率(事業費):85% 用地取得率(面積):26%	平成27年3月25日 0.5km開通(2車線)
コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点	新技術、新工法の採用など引き続き検討	

事業の進捗の見込みに関する視点

一般国道161号 愛発除雪拡幅

1) 事業の進捗状況

平成28年度事業内容

- ・現在、調査設計を実施しています。

進捗状況

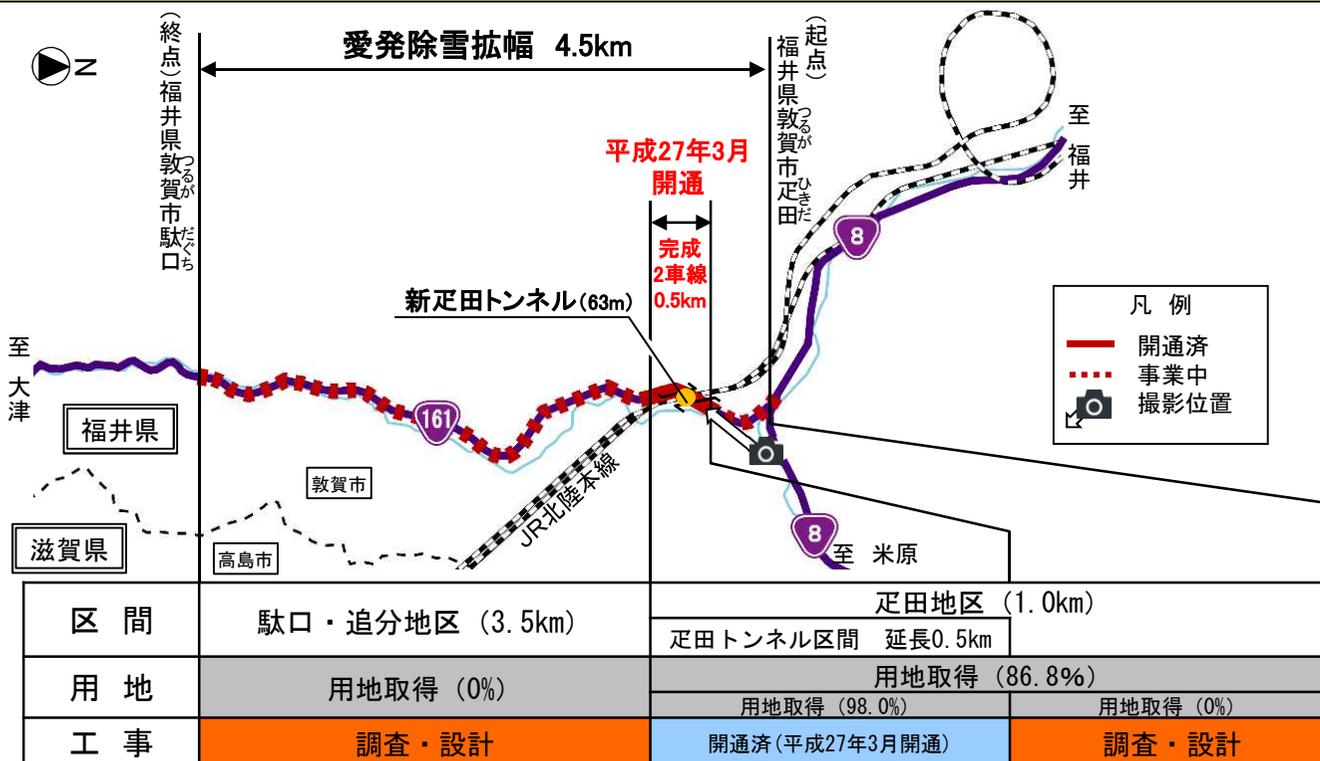
- ・平成27年度末までの進捗は、用地進捗率26%(面積ベース)、事業進捗率85%(事業費ベース)です。

事業進捗上の課題

- ・大きな課題はありません。

2) 今後のスケジュール等

- ・引き続き事業を推進し、早期の開通を目指します。



※平成27年度末現在

開通前後のトンネル付近状況



▲開通前(福井側) H25.4.10撮影



▲開通後(福井側) H28.2.3撮影

■福井県知事

平成28年7月21日 土政推第198号

近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会
について(回答)

国道161号愛発除雪拡幅の対応方針(原案)「事業継続」については異存ありません。

愛発除雪拡幅については、これまで大雪等により通行止めが多く発生しているため、安定的な交通が確保されるよう、早期完成をお願いしたい。

◆ 沿線市町村の期待

■ 敦賀市長

国道161号は、福井・滋賀両県の産業や観光、そして防災面における緊急避難ルートとして、重要な幹線道路であるとともに、北陸圏と近畿圏を結ぶ大動脈であります。

しかし、同区間は、冬季は降雪量が多く、特に本市と高島市の県境は豪雪地帯であり、降雪時には、車両の通行に支障をきたしております。平成23年1月の豪雪時には約20時間にわたる通行止めが発生し、他にも過去10年間に降雪の影響による通行止めが4回発生しております。また、急勾配、急カーブや狭隘区間が存在し、事故が多い区間であります。

現在、愛発除雪拡幅により、着実に目に見える形で、改良整備が進められており、敦賀市疋田地系のボトルネック箇所において、平成27年3月に「新疋田トンネル」が開通し、国際標準コンテナ車両の通行が可能となり、敦賀港のコンテナ取扱量の増加等、ストック効果が現れはじめています。

本市は古くから港町として栄え、敦賀港は平成22年に重点港湾に選定され、整備が進められております。日本海側で、京阪神に最も近い港として、本市としてもポートセールスに力を入れております。

敦賀港と近畿圏の陸上輸送効率が向上すれば、一層、敦賀港を活用した海上輸送の優位性が高まります。また、滋賀県の貿易輸出入総額の約60パーセントはアジア圏であり、国道161号の整備は、敦賀港の利用促進や物流コストの低減につながります。

こうした中、本年度(平成28年度)、滋賀県大津市と高島市で構成する国道161号改良整備促進期成同盟会に入会し、県域を越えた取り組みにより、事業化されている区間の早期完成はもとより、事業化されていない敦賀市駄口から高島市マキノ町野口間についても早期事業化をお願いしているところであります。

さらに、本市では、県域を超えた市町との連携を図り、敦賀港を活性化すると共に、各自治体の産業の特色を生かし、共存共栄を目指すため、広域的な経済圏を形成する「ハーモニアスポリス構想」を策定するため、関係6市町で研究会を発足し取り組んでおります。

このようなことから、地方創生や国土強靱化に向け、広域ネットワークの核である国道161号の整備が一日も早く進捗することを期待します。

愛発除雪拡幅は、事業の必要性に関する視点に変更はなく、事業の進捗の見込みの視点から、継続が妥当と判断できる。
引き続き事業を推進し、早期の開通を目指すことが適切である。

事業継続

土政推第198号
平成28年7月21日

近畿地方整備局長 様

福井県知事 西川 一誠



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針（原案）の作成に係る意見照会について（回答）

平成28年7月4日付け国近整企画73号にて照会のありました
標記の件について、下記のとおり回答します。

記

- 1 国道417号冠山峠道路の対応方針（原案）「事業継続」については異存ありません。

冠山峠道路については、北陸新幹線敦賀開業の効果を広く浸透させ、本県と岐阜県が一体的に発展するためにも、速やかに進めるべき事業である。

このため、十分な予算を確保し、平成34年度までの完成を実現していただきたい。

- 2 国道161号愛発除雪拡幅の対応方針（原案）「事業継続」については異存ありません。

愛発除雪拡幅については、これまで大雪等により通行止めが多く発生しているため、安定的な交通が確保されるよう、早期完成をお願いしたい。

3 その他の意見

(イ) 直轄事業のコスト縮減について

直轄事業を推進するにあたり、コスト縮減を厳正に行うとともに、建設発生土の利用等によるコスト縮減に最大限努めていただきたい。

(ロ) 事業評価監視委員会

事業評価監視委員会の委員選定に当たっては、地方を代表する委員も選定するようお願いしたい。

(ハ) 地方への意見聴取

直轄事業負担金の負担者として、事業全体を見て判断する必要があるため、事業全体の見通しについても意見を述べる機会とするようお願いしたい。